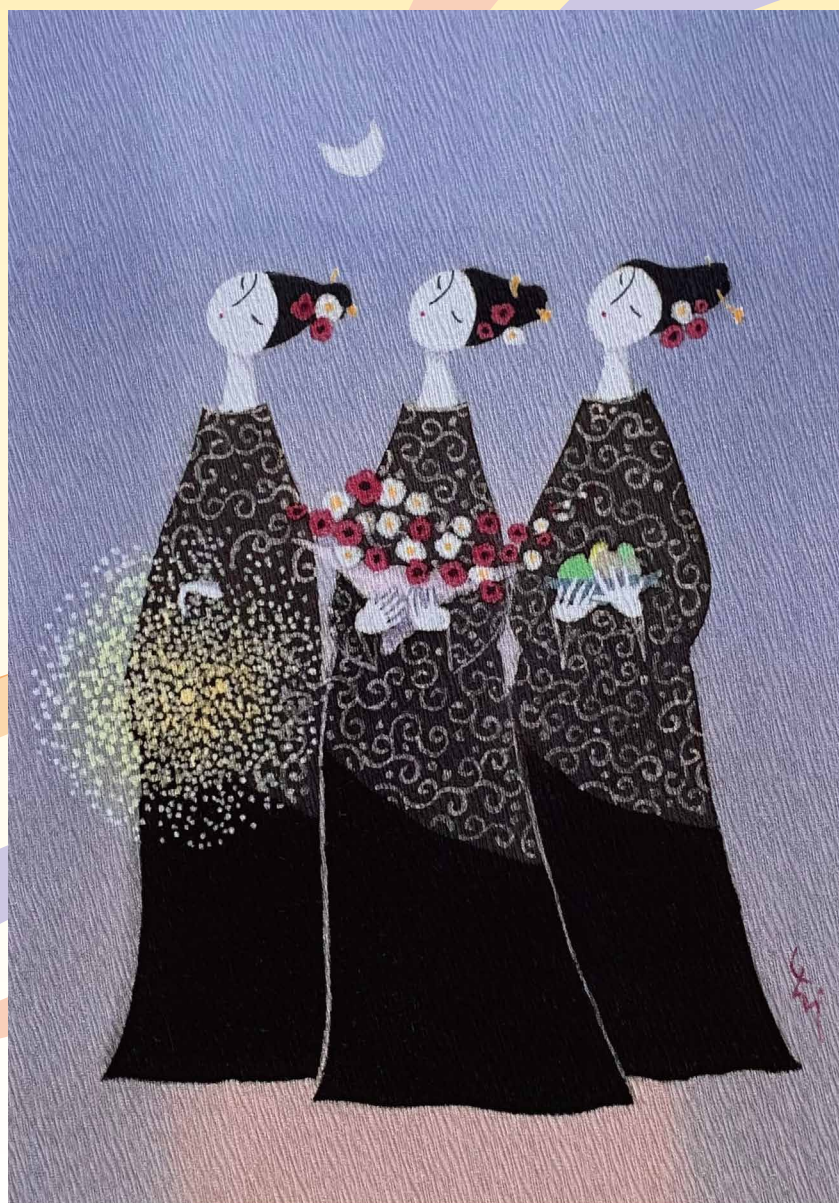


富山大学 医学部同窓会報

2021. 第30号



富山大学 医学部同窓会報

2021. 第30号



C O N T E N T S

- 5 会長挨拶 会長 田淵 英一 (医学科 6回生)
- <特集：新型コロナウイルス感染対策>
- 6 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に際して想うこと
感染症学講座/総合感染症センター 山本 善裕
- 8 コロナ禍における杉谷キャンパスの対策 (医学科の対応)
医学科教務委員長 岸 裕幸
- 10 WithコロナからPost コロナにむけて
不二越病院 平井 忠和 (医学科 3回生)
- 12 こどもたちにとっての新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)
小児科 種市 尋宙 (医学科 17回生)
- 14 新型コロナウイルス感染症への対応 — 五類感染症に —
富山大学医学部疫学・健康政策学講座協力研究員 (元富山医科薬科大学感染予防医学講座助教授)
上村 清
- 21 コロナ禍における杉谷キャンパスの対策 ～ 看護学科の授業対応 ～
看護学科教務委員長 西谷 美幸
- 23 コロナ禍における定期健康診断
保健管理センター杉谷分室 高倉 一恵 (看護学科 2回生)
- 24 COVID-19の感染拡大と医学部臨床実習への影響 小西 正晃 (医学科 5年)
- 25 コロナ禍における富山大学看護学科教育の状況 青山 裕紀 (看護学科 4年)
- 26 コロナ禍で私が感じて思うこと 大垣内 友子 (看護学科 4年)
- <卒業生からのメッセージ>
- 27 富山短期大学教授 田淵 英一 (医学科 6回生)
整形外科教授 川口 善治 (医学科 7回生)
-

医療法人しんみ会 中村眼科 院長 中村 伸男 (医学科 16回生)

福岡ゆたか中央病院 呼吸器内科 三雲 大功 (医学科 26回生)

学術研究部医学系精神看護学 山田 恵子 (看護学科 7回生)

<新任教授就任挨拶>

- 30 富山大学産科婦人科学教室の教授に就任いたしました
産科婦人科学 中島 彰俊 (医学科 18回生)
- 31 教授就任のご挨拶 システム機能形態学 伊藤 哲史
- 32 教授就任のご挨拶 リハビリテーション科 服部 憲明
- 33 就任ご挨拶 微生物学 森永 芳智

<病院紹介>

- 34 かみいち総合病院長就任の御挨拶
かみいち総合病院長 浦風 雅春 (医学科 2回生)
- 35 片麻痺になっても、住み慣れた地域で
アルペンリハビリテーション病院 室谷 ゆかり (医学科 20回生)

<留学報告>

- 36 フランス留学報告 第一外科学 青木 正哉 (医学科 26回生)

<退官寄稿>

- 38 ご挨拶 統計・情報科学 折笠 秀樹
- 39 基礎医学の研究に携わって システム情動科学 西条 寿夫 (医学科 1回生)
- 41 富山医科薬科大学から富山大学へ ― 勤続17年7か月の想い ―
救急・災害医学 奥寺 敬

<訃報>

- 42 山本恵一先生を偲んで 特別会員 三崎 拓郎 (第一外科学 元教授)
-

- 43 山本恵一先生を偲んで ひまわりクリニック 杉山 茂樹 (医学科 1回生)
- 45 伊藤佑輔先生とともに歩んだ麻酔科 麻酔科学 山崎 光章 (医学科 1回生)
- 46 そうか、先生はもう居られないのですね 麻酔科学 廣田 弘毅 (医学科 3回生)
- 48 伊藤先生の思い出 麻酔科学 渋谷 伸子 (医学科 3回生)
- 49 高岡での伊藤先生
高岡整志会病院 麻酔科・痛み緩和診療部長 神谷 和男 (医学科 7回生)
- 50 倉知正佳名誉教授を偲んで 神経精神医学教授 鈴木 道雄
- 52 倉知先生に感謝いたします
富山県心の健康センター所長 麻生 光男 (医学科 9回生)
- 53 倉知先生の思い出—何事にも真摯であること—
神経精神医学准教授 高橋 努 (医学科 15回生)
- 54 第13回富山大学ホームカミングデーのご案内・プログラム
- 55 令和2年度富山大学附属病院関連病院長懇談会理事会議事要旨
- 57 令和2年度富山大学附属病院関連病院長懇談会総会議事要旨
- 58 令和2年度 第39回富山大学医学部同窓会総会 議事録
- 61 行事
- 62 職掌分担
- 63 評議員一覧
- 64 2020富山大学医学部人事消息
- 66 令和元年度会計報告
- 68 編集後記
- 70 会計からのお知らせ



会長挨拶

富山短期大学専攻科食物栄養専攻
会長 田淵 英一（医学科 6回生）

昨年は、世界中どこもかしこも新型コロナウイルス COVID-19 感染症対策で終始しました。

ウイルスの病原性は低いものの強力な感染力と有効な治療法がないことから、医療体制の確立が難しく、対策が遅れ、世界の様々な業界の活動が抑制され、世界中の人々が苦難を強いられています。日本でも、パンデミックで様々な活動制限が余儀なくされ、それによる景気の落ち込みや失業だけでなく、うつや自殺、風評被害など様々な弊害が多発しています。

私自身も、週に1～7回あった講演・講座の多くが中止となり、人並みの休暇をとる機会ができ、改めて自分の生活や人生を見直すことができました。また、“ヒトが生きる”ということを深く考えることができ、今後はもう少し余裕のある生き方を選択したいと考えています。

こういった情勢から、今年度の本誌でも新型コロナウイルス対策を特集として組みました。富山大学医学部の教員や学生の方々から、それぞれの立場から多くの貴重なご意見をいただきました。熱い思いを語っていただいたので、どの原稿を読んでも頷くことばかりでした。会員の皆様も是非ご熟読いただいて、今後の活動の参考にいただければ幸いです。

感染対策の一環として予防接種は今年中に始まりそうですが、医療現場が落ち着くためには抗ウイルス剤が必須と思います。いち早く完成することを切に望んでいます。

今年こそは、オリンピックを観戦したいですね。

会員の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしております。